

第5章 学生の受け入れ（基本情報一覧）

入学試験要項

学部・研究科等の名称	URL・印刷物の名称
文学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
文化社会学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
教養学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜</p>

	東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）
児童教育学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
体育学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
健康学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>

法学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
政治経済学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
経営学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
国際学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型</p>

	<p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
観光学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
情報通信学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
理学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期）</p>

	<p>東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
情報理工学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
建築都市学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
工学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜</p>

	<p>東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期）</p> <p>東海大学入学試験要項 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻選抜【大学入学共通テスト利用型】</p> <p>東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期）</p> <p>東海大学入学試験要項 一般編入学選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
医学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 医学部医学科（希望の星育成）</p> <p>東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜（看護学科）</p> <p>東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜（看護学科）</p> <p>東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期）（看護学科）</p> <p>東海大学入学試験要項 一般選抜（医学部医学科）、大学入学共通テスト利用選抜（医学部医学科）、医学部神奈川県地域枠選抜【大学入学共通テスト利用型】、医学部静岡県地域枠選抜【大学入学共通テスト利用型】</p> <p>東海大学入学試験要項 医学部医学科特別選抜（留学のすすめ）</p> <p>東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期）（看護学科）</p>
海洋学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型</p> <p>東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期）</p> <p>東海大学入学試験要項 海洋学部 乗船実習課程選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期）</p> <p>東海大学入学試験要項 一般編入学選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
人文学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型</p> <p>東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期）</p> <p>東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期）</p> <p>東海大学入学試験要項 一般編入学選抜</p> <p>東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>

文理融合学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
農学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
国際文化学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
生物学部	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p>

	<p>東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型 東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型 東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜 東海大学入学試験要項 全学部統一選抜（前期/後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期/中期/後期） 東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期/二期） 東海大学入学試験要項 一般編入学選抜 東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）</p>
学部・研究科等の名称	URL・印刷物の名称
総合理工学研究科	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）</p>
生物科学研究科	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）</p>
文学研究科	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）</p>
政治学研究科	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）</p>
経済学研究科	<p>本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/</p> <p>東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）</p>

法学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
人間環境学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
芸術学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
体育学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
健康学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
理学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
工学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）
情報通信学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/

	東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推荐入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）
医学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推荐入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
海洋学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推荐入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
農学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推荐入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 国際方式入学試験（秋学期）（春学期）
生物学研究科	本学オフィシャルホームページ_入試情報特設ページ https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/ 東海大学大学院入学試験要項 一般入学試験、社会人入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期） 東海大学大学院入学試験要項 推荐入学試験（秋学期）（春学期・一期/二期）
備考：	

入学者選抜に係る規程

規程名称	URL・印刷物の名称
東海大学入学試験運営に関する規程	東海大学入学試験運営に関する規程（4431） (非公開)
東海大学入試戦略会議規程	東海大学入試戦略会議規程（4420） (非公開)
東海大学編入学制度に関する規程	東海大学編入学制度に関する規程（4440） (非公開)
備考：	

2025年度 自己点検・評価報告書

第5章 学生の受け入れ（本文）

評定:S・A・B・C

1. 現状分析

5.1. 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。

【補足説明】

- ① 大学全体の観点から、学生の受け入れ方針の内容（入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法）について点検・評価し、その結果を学部だけでなく研究科の実態も示しつつ、ご説明ください。さらに、以下の内容も踏まえて、具体例を示すなど第三者が分かるようにご説明下さい。
- ・学位授与方針や教育課程の編成・実施方針と連関しているか。
 - ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法は明確になっているか（能力と判定方法の連関性など）。
 - ・全学的な学生の受け入れ方針と学部・研究科の学生の受け入れ方針は連関し、大学としての一貫性が担保されているか。
- ② 学生募集、入学者選抜の実施体制、手続、その運用実態について説明する場合は、具体的に（学部、研究科ごとに事例を示す等）、第三者が分かるようにご説明下さい。

<評価の視点>

1. 学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。

学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているかについて、これに関わる方針・規程・事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

本学では、大学全体レベルと大学院全体レベル、学科レベル及び研究科レベルにおける全ての学位について、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を設定している。

大学全体（学士課程）のアドミッション・ポリシーでは、本学の「建学の精神」と教育理念に共鳴する以下の者を国内外から広く受け入れるとしており、具体的に次の学生像を示している。

1. 大学で学ぶに相応しい学力を有し、明日の歴史を担う強い使命感のある者
 2. 豊かな心と健やかな体の育成に努めると共に、自分の個性を伸ばす意志のある者
 3. 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、社会に貢献する志のある者
- そして大別された入試種別ごと（総合型選抜、学校推薦型選抜、学力選抜）にも、

その特性に沿ったアドミッション・ポリシーを定め、入学希望者に求める水準と判定方法も示している。

次に、大学院全体におけるアドミッション・ポリシーでは、「修士課程及び博士課程前期」及び「博士課程及び博士課程後期」の各研究科が掲げるディプロマ・ポリシーに基づく教育を受けるために必要な学力を有する者で、本学の「建学の精神」と、以下に示す「求める大学院生像」を理解し、高い学問的探求心と研究意欲をもつ者を国内外から広く受け入れるとしている。

【求める大学院生像】

1. 専門に対応できる基礎力と応用力、及び幅広い視野を有し、自ら学ぶ意欲を持つ者
2. 高度専門職業人として、調和のとれた文明社会の建設に大きな役割を担う意欲のある者
3. 広く自らの世界観・歴史観を持ち、諸現象を多面的に捉えて考える意思のある者

さらに大学院入試別（一般入学試験、推薦入学試験）にもアドミッション・ポリシーを定め、入学希望者に求める水準と判定方法を示している。

以上の大学全体、大学院全体及び入試のアドミッション・ポリシーは、出願資格、選考方法・基準等とともに「入学試験要項」に明記し、本学オフィシャルホームページで公表（一部のサイトは条件つきで公開）している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、16【ウェブ】）。また、学部・学科・専攻、研究科・専攻ごとのアドミッション・ポリシーは、本学オフィシャルホームページへのリンクを設定し、本学オフィシャルホームページで確認することができる。以上のことから、学生の受け入れ方針の設定について、適切である。

2. 学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。

学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているかについて、これに関わる方針・規程・事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

アドミッション・ポリシーの内容は、学科・研究科ごとに、入学者に求める学生・大学院生像を示すとともに、求める知識・技能・思考力・判断力・表現力・態度、学科・研究科の特性に沿った入学前の学習歴や学力水準、能力等も明示している（根拠資料 1-5【ウェブ】、4-1【ウェブ】）。

学部の例として、文学部文明学科のアドミッション・ポリシーでは、求める学生像として「文学部文明学科の教育目標を理解し、この目標を達成するために自ら学ぶ意欲をもった人材。及び、ディプロマ・ポリシーで求められている能力を、身に付けら

れると期待できる基礎学力を十分有する人材」であることを明示している（根拠資料 4-2【ウェブ】）。健康学部健康マネジメント学科のアドミッション・ポリシーでは、入学者に求める思考力・判断力・表現力が「文系の知識・技能と理系の知識・技能のどちらかに偏ることなく学ぶことによって、健康と社会について、柔軟に思考・判断し、自らの考えを発信できること」であることを明示し、求める知識・技能として、英語・国語・社会・数学・理科の各教科で求める水準を示している（根拠資料 5-17【ウェブ】）。実際にこれらの知識・技能を測るために、一般選抜、全学部統一選抜（旧称：文系・理系学部統一選抜）、大学入学共通テスト利用選抜で当該教科を試験科目として課しており、「入学試験要項」にも明記している（根拠資料 5-9【ウェブ】）。理学部化学科では、入学者に求める主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度が、「化学を学ぶことを通じて、自分の考えを基にしながら相手の意見を必要に応じて取り入れて自らの意見をまとめあげること、社会で協調して生きる力を涵養することが期待できること」であることを明示している（根拠資料 5-18【ウェブ】）。

大学院の例として、体育学研究科（博士課程（前期・後期））のアドミッション・ポリシーでは、「求める大学院生像」を、「体育学研科で定めている学位授与のために求められている能力を、身に付けられると期待できる基礎学力が十分にある人材」とし、具体的に入学者にもとめる知識・技能・能力として、博士課程前期では、1. 体育学分野の専門的な情報・知識を得るために必要な英語の語学力、2. 体育学分野の専門的な学修をするために必要な学部レベルの十分な基礎学力、博士課程後期では、1. 体育・スポーツ科学領域の専門的な学修をするために必要な修士課程レベルの十分な基礎学力、2. 当該分野における極めて高度な知識・技能を有し、独創性・創造性に富んだテーマを持って研究を遂行する意欲、3. 研究により得られた知見や技術、及びその過程で得られた能力を社会へ還元する意欲、4. 体育・スポーツ科学領域の専門分野の情報・知識を得るために必要な英語の語学力と示している。以上の力を判定するために課す試験科目は「大学院入学試験要項」に明記している（根拠資料 5-15【ウェブ】、19【ウェブ】）。

以上のように本学では大学全体と大学院全体、及び学位ごとのアドミッション・ポリシーはディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの連関する内容となっており、学生に求める学力、能力、態度やその評価方法を明確にしている。

大学、大学院全体及び学位ごとのアドミッション・ポリシーは、授業要覧（根拠資料 1-8）、大学院要覧（根拠資料 1-9）に掲載し、本学オフィシャルホームページ（根拠資料 1-5【ウェブ】、4-1【ウェブ】）でも学内外に公表している。

本学では学位ごとのアドミッション・ポリシーの策定にあたっては、教育政策の企画（Plan）を担う教育審議会が「3つのポリシー策定の基本方針」学部版及び大学院版を作成し、その中で「アドミッション・ポリシーは、大学全体及び学位プログラム（学科）単位において策定されている教育研究上の目的及び養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、どのような入学者を受け入れるかを定めるための方針であり、受け入れる学生に求める「学力の3要素」の基準を示すことが必要である」等の留意事項を明記している（根拠資料 5-20、21）。

この方針に沿って、各学部・研究科がアドミッション・ポリシーを新規に策定、あ

るいは改訂する場合は、教育審議会において内容を点検し、問題があれば修正を指示し、最終的に教育審議会で承認するというプロセスをとることで、アドミッション・ポリシーの適切性を担保しており、現状の各学位プログラムのアドミッション・ポリシーの内容に問題はない。

ただし、本学ではこれまで、アドミッション・ポリシーを含む3つのポリシーは、概ね4年に一度変更される、大学全体及び当該学位プログラムのカリキュラム（根拠資料1-8、9）と連動しており、頻繁に改訂すべきものではないという考え方から、新規策定または改訂時以外には定期的な内容の点検・評価を行っておらず、毎年度各学部・研究科で実施する自己点検・評価項目にも含めていなかった。しかしそれでは各学部・研究科等が改訂の必要性を認識しない限り、3つのポリシーの点検・評価ができないという課題がある。

2023年度の自己点検・評価で明らかになったこの課題を解決するため、2024年度からは新たにチェックシートを作成し、このチェックシートを根拠に3つのポリシーの改訂の有無を記載するようにフォーマットを変更した。

なおアドミッション・ポリシーを含む3つのポリシーは、本学オフィシャルホームページで公表しているが、学科・研究科ごとに同一のページにまとめて掲載することで、その関連性を把握しやすいよう配慮している（根拠資料1-6【ウェブ】、5-22【ウェブ】、23【ウェブ】）。以上のことから、学生の受け入れ方針の公表は、適切である。

3. 学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。

学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているかについて、これに関わる方針・規程・事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

入学者選抜に係る業務全般については、主管部門である学長室（入試担当）が担っている。入学者選抜の実施、判定、制度改正に関する組織及び業務分掌は規程として整備することで、責任所在を明確にするとともに、その権限や役割を適切に履行することを遵守している（根拠資料5-24）。

入試業務運営全般の統括責任組織として学長を本部長とする入試運営本部を設置し、そのもとに入学者選抜の実施組織として、教学担当部長を本部長とする入試実施本部を置き、円滑な入学者選抜を実施できる体制を構築している。さらに、全ての入学者選抜において、学長を委員長、学部長等を委員とする入試判定委員会を開催し、公正な合否判定を行っている。入試問題の作成は、入試担当部長を本部長とする出題・採点本部が管理しており、同本部は採点業務全体についても統括している。出題・採点本部のもとには教員で構成される入試問題作成部会を置き、試験問題の作成・校正を行っている。また、入試問題作成部会とは別の教員で構成される入試問題編集部会を設置し、入試問題作成部会が作成・校正した問題の妥当性等を点検することで、出題ミスを防ぐ体制を整備している（根拠資料5-24）。

【公正な入学者選抜の実施】

公正な入学者選抜を実施するため、「入学試験要項」には試験上の注意として試験当日の持参品・所持品の取扱い等について明記するとともに、不正行為と判断される行為や本学の対応についても明記している。（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、16【ウェブ】）。

学長室（入試担当）では、入試種別ごとに「実施要領」を作成し、実施の準備から試験当日の実施手順、試験監督者の台詞、不正行為発生時の対応方法等を細かく規定することで、様々な形式で実施される入学者選抜が均質でミスなく遂行できるよう管理している（根拠資料 5-25）。なお、入学者選抜終了後、各試験場から報告書の提出を義務付けており、そこで挙げられた課題や問題点は学長室（入試担当）で検討し、翌年の「実施要領」に反映させることで、入試運営がより公正で円滑に遂行できるよう改善に取り組んでいる。また、学力選抜では科目間の難易度の差による有利・不利をなくし公平に入学者選抜を実施するため、一般選抜、全学部統一選抜（旧称：文系・理系学部統一選抜）の科目ごとに得点を偏差値化した判定点の合計点を総合点とし、合否判定を行っている（根拠資料 5-9 p. A-13【ウェブ】）。

【公平な入学者選抜の実施】

学力選抜の入試問題については、試験終了から入試判定委員会までの間に学外機関に外部チェックを依頼し、出題ミスがないか点検している。点検の結果、学外機関から出題ミスの可能性について指摘を受けた場合は、入試問題作成部会の責任者を中心に当該設問の妥当性について精査・検証を行う。出題ミスが判明した場合は、速やかに文部科学省に所定の形式で報告するとともに、本学オフィシャルホームページで公表している。このように、入試問題を迅速に点検・検証し、出題ミスを入試判定委員会開催までの間に早期に発見できる体制を整え、合格発表前に採点上の対応を講じることで受験生に不利益が発生することのないようにしている（根拠資料 5-26【ウェブ】）。以上のことから、受け入れ方針に沿った体制構築と、入学者選抜の公平性、公正性について、適切である。

4. 入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。

入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているかについて、これに関わる方針・規程・事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

合理的な配慮を必要とする入学希望者に対しては、「東海大学の障がい学生支援に関する指針」を基に対応している（根拠資料 5-27【ウェブ】）。具体的には、受験及び修学上の合理的配慮を必要とする場合は、「入学試験要項」に記載されている内容を確認して指定期日までに申し出ることになっており、要望内容に対しては本学で対応可

能な配慮内容を各学部・研究科及びインクルージョン推進室が協議の上で回答し、入学希望者が本学の配慮内容について理解し、了承した上で出願いただいている。このような取り組みにより、入学後スムーズに就学できるよう支援している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】）。以上のことから、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みは、適切である。

5. すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

1. すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているかについて、これに関わる方針・規程・事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

入学者選抜制度の情報は「入学試験要項」及び「東海大学 入試情報」等を本学オフィシャルホームページで公開（一部のサイトは条件つきで公開）し、広く情報提供している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、16【ウェブ】、28【ウェブ】）。また、留学生への配慮として、本学オフィシャルホームページでは中国語での情報提供を2024年度から対応している（根拠資料 5-29【ウェブ】）。大学院一般入学試験（総合理工学研究科、工学研究科）及び国際方式入学試験では和文の他に英文の「入学試験要項」を作成して、学生募集を行っている（根拠資料 5-30、31【ウェブ】）。

本学は、「建学の精神」に基づき、専門だけにとらわれることなく幅広い視野をもち、自ら考えることで未来を切り拓く多様な人材の育成を目指しているが、このことに共鳴し自ら学ぶ意欲をもった者を求めるなどをアドミッション・ポリシーとして、以下の学生募集活動を行っている。学生募集に係る業務全般については、学長室（広報担当）が中核となり様々な募集活動を展開している。具体的な募集活動として、各キャンパスで実施するオープンキャンパス、各都市の催事場を会場として行われる進学相談会、高校を会場として行われる大学説明会等において、受験生に対して広く情報提供を行っている（根拠資料 5-32【ウェブ】、33【ウェブ】）。

本学オフィシャルホームページでは、主に受験生を対象とした「東海大学会員サイト」を展開しており、オープンキャンパス日程や入試対策講座等の最新情報の配信や、資料請求の受付等をWeb上で行うことで、時間や場所を問わず必要な情報を随時収集できる環境を整えている（根拠資料 5-33【ウェブ】）。

また、高校向けの広報活動については、主に進路指導担当教員に対して、入試制度を直接説明する訪問活動を展開している他、本学キャンパス等を会場とした「入試説明会」を開催し大学紹介や入試制度説明を行い、高校での進路指導現場において生徒に本学を紹介いただけるような情報を提供する機会を設けている（根拠資料 5-34）。

本学では、オープンキャンパス、進学相談会、大学説明会、高校訪問等の募集活動に従事する「入学アドバイザー」を各部門・部署から選出してもらい、全学的な協力

体制のもと募集活動にあたっている。「入学アドバイザー」に対しては、研修会の実施やOJT等を通じて、入試制度、学部学科等の特徴、募集活動のノウハウ等を教育し、人材育成を行っている。各「入学アドバイザー」の知識やスキルを十分に向上させてから募集活動に携わらせることで、受験生等に正確で的確な情報提供や助言ができる体制を組織的に構築し、募集活動の適切性を担保している（根拠資料 5-35、36）。

学部での情報発信事例として、工学部では高等学校の生徒を対象とした体験授業を募集し、模擬授業の実施を通じて各学科のカリキュラム等を効果的に発信している。人文学部でも高等学校の生徒を対象としたワークショップを開催し、学ぶことができる研究領域を分かりやすく伝えている。学部の教員が高等学校の生徒と直接対面し応対することで、より具体的に大学での教育内容をイメージさせると共に、養成する人材像等の理解を促し、アドミッション・ポリシーに基づく学生募集に取り組んでいる（根拠資料 5-37、38）。

大学院での情報発信事例として、生物学研究科では大学院通信を発刊し大学院生の活動状況を伝えることで、研究科の教育活動に対する理解の醸成を図り、アドミッション・ポリシーに合致した学生の獲得に取り組んでいる（根拠資料 5-39）。以上のことから、志願者に対する分かりやすい情報提供について、適切である。

2. 本学の学生の受け入れ方針（学位課程ごと：学士課程・修士課程・博士課程ごと）は、全学的な学生の受け入れ方針と学部・研究科の学生の受け入れ方針と関連し、大学としての一貫性が担保されているかについて、これに関わる方針・規程・学部、研究科の事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

学位プログラムごとのアドミッション・ポリシーは、教育審議会が作成する「3つのポリシー策定の基本方針」（学部版、大学院版）に基づき策定している（根拠資料 5-20、21）。「3つのポリシー策定の基本方針」では、アドミッション・ポリシーの策定にあたり、教育・研究上の目的及び養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの一貫性を考慮することを求めており、上記に示した大学全体、大学院全体の方針についても改めて明示することで、各ポリシーの連関や整合性を担保するよう努めている。策定にあたっては、各学部・研究科が作成した内容を教育審議会が点検・評価し、その適切性を確認している。以上のことから、全学的な学生の受け入れ方針と学部・研究科の学生の受け入れ方針と関連した大学としての一貫性の担保は、適切である。

3. 本学の学生の受け入れ方針（学位課程ごと：学士課程・修士課程・博士課程ごと）は、求める学生への入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求めている水準等の判定方法は明確になっているか（能力と判定方法の関連性など）について、これに関わる方針・規程・学部、研究科の事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

アドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜を具現化するため、学士課程では、一般選抜、全学部統一選抜（旧称：文系・理系学部統一選抜）、大学入学共通テスト利用選抜、公募制学校推薦型選抜、指定学校推薦型選抜、付属学校推薦型選抜、総合

型選抜、留学生一般選抜など多様な入試制度を設けている。修士・博士課程においても、一般入学試験や推薦入学試験、社会人入学試験、国際方式入学試験を設けている。各入学者選抜では、個別学力試験や面接審査、小論文審査、調査書等を用いて、アドミッション・ポリシーに基づく基礎学力を判定し、選抜している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、16【ウェブ】、40～44）。具体例として、教養学部芸術学科では、アドミッション・ポリシーに基づく「芸術に関する基礎的な知識や実践能力」を判定するため、公募制学校推薦型選抜の面接試験では自作作品の提示を課しており、一般選抜の専門試験では演奏やデッサン等を課している（根拠資料 5-7【ウェブ】、9【ウェブ】）。国際学部国際学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「英語」の知識や「表現力」等を判定するため、総合型選抜及び推薦型選抜の面接試験（口述試験）において、英語による自己アピールを課している。また、総合型選抜学科課題型（第二次選考）の課題発表＜プレゼンテーション＞に際しては「あなた自身の言葉で」語ることを強調して求めており、受験生自身の個性を引き出す質問を通して、自らの考えを表現できる力を確認している（根拠資料 5-1【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、40）。

大学院の推薦入学試験においては、全研究科の推薦基準を本学オフィシャルホームページで公表している（根拠資料 5-45【ウェブ】）。海洋学研究科では、日本国内の大学を卒業見込みの者で、学業成績の通算G P Aが 3.0 以上であることを推薦基準のひとつとして掲げているが、G P Aが算出不可能な場合等は出身大学の学科において成績が上位 40%以内であることを示す書類の提出を求めるなど、代替基準についても詳細に規定し公表することで、推薦入学試験制度の透明性を高め、公正性を担保している。以上のことから、求める学生像及び入学希望者に求められている水準等の判定方法の明確化について、適切である。

4. 本学の学生の受け入れ方針は、どのような方法によって公表されているかについて、これに関わる方針・規程・事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

本学の学生の受け入れ方針であるアドミッション・ポリシーを含む3つのポリシーは、本学オフィシャルホームページで公表しているが、学科・研究科ごとに同一のページにまとめて掲載することで、その関連性を把握しやすいよう配慮している（根拠資料 1-6【ウェブ】、5-22【ウェブ】、23【ウェブ】）。また、大学、大学院全体及び学位ごとのアドミッション・ポリシーは、授業要覧（根拠資料 1-8）、大学院要覧（根拠資料 1-9）に掲載し、本学オフィシャルホームページ（根拠資料 1-5【ウェブ】、4-1【ウェブ】）でも学内外に公表している。以上のことから、学生の受け入れ方針の公表について、適切である。

5. 本学の学生の受け入れ方針の公表において、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているかについて、これに関わる方針・規程・事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

「入学試験要項」及び「東海大学 入試情報」等を本学オフィシャルホームページで公開（一部のサイトは条件つきで公開）し、広く情報提供している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、16【ウェブ】、28【ウェブ】）。また、留学生への配慮として、本学オフィシャルホームページでは中国語での情報提供を 2024 年度から対応している（根拠資料 5-29【ウェブ】）。大学院一般入学試験（総合理工学研究科、工学研究科）及び国際方式入学試験では和文の他に英文の「入学試験要項」を作成して、学生募集を行っている（根拠資料 5-30、31【ウェブ】）。以上のことから、学生の受け入れ方針の公表において、媒体や表現の工夫等による、情報の得やすさや理解しやすさへの配慮は、適切である。

5.2. 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。

【補足説明】

- ① 入学定員に対する入学者数比率、収容定員に対する在籍学生数比率が低い研究科について、定員充足への取り組みについてもご説明下さい。さらに、各比率が 0.00 となっている研究科については、取り組みの検討が進んでいるようであれば、ご説明ください。また、研究科について、収容定員に対する在籍学生数比率が超過している場合は、どのような対応を行っているかご説明ください。

＜評価の視点＞

1. 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

1. 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているかについて、事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

学士課程の過去 5 年間（2021 年度から 2025 年度）の各学部の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の学科を除き 0.84 から 1.12 となっているが、学士課程全体の平均比率は 1.04 であり、適正に維持できている（大学基礎データ表 2）。編入学については、各学科とも概ね 0～6 名程度となっている。編入学の募集定員は若干名としているため、学士課程の質を確保する観点から入学者数の多少については容受しており、適正に維持できている（大学基礎データ表 2、表 3）。修士課程・博士課程前期の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の研究科を除き 0.06 から 1.31 となっているが、修士・博士課程前期全体の平均比率は 0.73 である（根拠資料 5-46）。博士課程・博士課程後期の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の研究科を除き 0.00 から 1.27 となっているが、博士課程・博士課程後

期全体の平均比率は 0.32 である（根拠資料 5-46）。修士・博士課程では研究科によって充足状況に差異が生じているが、学士課程と異なり研究のトレンドや、社会情勢、経済状況などによって出願状況が変動するためであり、修士・博士課程の質を確保する観点から容受している（大学基礎データ表 2、表 3）。

2025 年度の学士課程における収容定員に対する各学部の在籍学生数比率は、募集停止の学科を除き 0.85 から 1.15 となっているが、学士課程全体の平均比率は 1.04 であり、適正に維持できている。2025 年度の修士課程・博士課程前期における収容定員に対する研究科ごとの在籍学生数比率は、募集停止の研究科を除き 0.10 から 1.46 となっているが、修士課程・博士課程前期全体の平均比率は 0.82 である（根拠資料 5-46）。2025 年度の博士課程・博士課程後期における収容定員に対する研究科ごとの在籍学生数比率は、募集停止の研究科を除き 0.00 から 1.22 となっているが、博士課程・博士課程後期全体の平均比率は 0.38 である。充足率に課題はあるが、上述のとおり修士・博士課程の質を確保する観点から容受している（根拠資料 5-46）。

学士課程における収容定員に対する在籍学生数比率は、入学手続者の歩留まり等を予測しながら緻密に合否判定を行うことで、過剰に充足することのないよう努めている。また、収容定員超過率の基準に抵触しないことを念頭におき、各学科・専攻の在籍学生数を適時把握し合格者数を設定することで、各種入学者選抜の合否判定を適切に行うと共に、適正な定員管理に取り組んでいる。また、未充足の学科を減らすため、入学手続状況を綿密に把握しながら、計画的に繰り上げ合格を発表することで欠員数の減少に努めている（根拠資料 5-9 p. A-30【ウェブ】）。以上のことから、学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数の適正な維持と、定員超過や未充足の場合の対策について、適切である。

2. 学生の受け入れ方針に基づく本学の学生募集方法及び入学者選抜制度の設定について、これに関わる方針・規程・学部、研究科の事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

学位プログラム（学科）レベルでは、毎年 4 ～ 5 月頃に前年度の入試状況を踏まえて、当年度の各入学選抜における募集人員を策定し、各学部の教授会で審議し、承認を得た後、学部長会議で報告している。収容定員に対して過剰又は未充足の状況が発生している場合は各入学選抜における募集人員を調整することで改善に努めている（根拠資料 5-47）。具体例として、2025 年度入学者選抜では、総合型選抜学科課題型の募集人員を前年度 689 名から 714 名に増加した。少子化に伴う受験人口の減少に伴い、本学の入学志願者数も減少傾向にあるが、専願であり合格者の入学意欲が強い総合型選抜の募集人員を増加することで早期に入学予定者を確保し、収容定員に対する在籍学生数比率において未充足になることを防ぐことを目的としている。また、アドミッション・ポリシーや受験学科の理解度が深く問われる総合型選抜において募集枠を拡大することで、入学後のミスマッチを防ぎ、適切な形で定員充足が実現できるよう改善を実施している。（根拠資料 5-47）。

修士・博士課程では、継続的な改善として大学院進学説明会を実施している（根拠資料 5-48）。2025 年度の収容定員に対する在籍学生数比率が 0.00 の法学研究科博

士課程後期では、学内の進学対象学年に「進学のすすめ」を配布することで、大学院進学の利点を訴求し、定員充足に向けて対応している（根拠資料 5-49）。また、生物学研究科は 2025 年度の収容定員に対する在籍学生比率が 0.56 であるが、上述のとおり大学院通信を発刊し大学院生の活動状況を伝えることで、定員充足に向けて対応している（根拠資料 5-39）。一方で、収容定員に対する在籍学生比率が超過している研究科については、入試判定時に各研究科の在籍学生数を適時把握し合格者数を設定することで、比率が過剰に超過することのないよう対応している。以上のことから、学生募集方法及び入学者選抜制度の設定について、適切である。

3. 学生募集、入学者選抜の実施体制、手続、その運用実態について、本学の学部、研究科の事例等をもとに、第三者が分かるように明記されている。

（学生募集）

学部での情報発信事例として、工学部では高等学校の生徒を対象とした体験授業を募集し、模擬授業の実施を通じて各学科のカリキュラム等を効果的に発信している。人文学部でも高等学校の生徒を対象としたワークショップを開催し、学ぶことができる研究領域を分かりやすく伝えている。学部の教員が高等学校の生徒と直接対面し応対することで、より具体的に大学での教育内容をイメージさせると共に、養成する人材像等の理解を促し、アドミッション・ポリシーに基づく学生募集を実行している（根拠資料 5-37、38）。

（入学者選抜の実施体制）

入試業務運営全般の統括責任組織として学長を本部長とする入試運営本部を設置し、そのもとに入学者選抜の実施組織として、教学担当部長を本部長とする入試実施本部を置き、円滑な入学者選抜を実施できる体制を構築している。入学者選抜に係る業務全般については、主管部門である学長室（入試担当）が担っている。入学者選抜の実施、判定、制度改正に関与する組織及び業務分掌は規程として整備することで、責任所在を明確にするとともに、その権限や役割を適切に履行することを遵守している（根拠資料 5-24）。

4. 本学の公正な入学者選抜の実施（オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施も含む）について、学部、研究科の事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

公正な入学者選抜を実施するため、「入学試験要項」には試験上の注意として試験当日の持参品・所持品の取扱い等について明記するとともに、不正行為と判断される行為や本学の対応についても明記している。（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】）。学長室（入試担当）では、入試種別ごとに「実施要領」を作成し、実施の準備から試験当日の実施手順、試験監督者の台詞、不正行為発生時の対応方法等を細かく規定することで、様々な形式で実施される入学者選抜が均質でミスなく遂行できるよう管理している（根拠資料 5-25）。なお、入学者選抜終了後、各試験場から報告

書の提出を義務付けており、そこで挙げられた課題や問題点は学長室（入試担当）で検討し、翌年の「実施要領」に反映させることで、入試運営がより公正で円滑に遂行できるよう改善に取り組んでいる。また、学力選抜では科目間の難易度の差による有利・不利をなくし公平に入学者選抜を実施するため、一般選抜、全学部統一選抜（旧称：文系・理系学部統一選抜）の科目ごとに得点を偏差値化した判定点の合計点を総合点とし、合否判定を行っている（根拠資料 5-9 p. A-13【ウェブ】）。以上のことから、公正な入学者選抜の実施について、適切である。

5. 本学の入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施（オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保を含む）について、これに関わる方針・規程・学部、研究科の事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

合理的な配慮を必要とする入学希望者に対しては、「東海大学の障がい学生支援に関する指針」を基に対応している（根拠資料 5-27【ウェブ】）。具体的には、受験及び修学上の合理的配慮を必要とする場合は、「入学試験要項」に記載されている内容を確認して指定期日までに申し出ることになっており、要望内容に対しては本学で対応可能な配慮内容を各学部・研究科及びインクルージョン推進室が協議の上で回答し、入学希望者が本学の配慮内容について理解し、了承した上で出願いただいている。このような取り組みにより、入学後スムーズに就学できるよう支援している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】）。以上のことから、入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施について、適切である。

6. 本学の入学者選抜の結果、方針に沿った学生を受け入れているかについて、学部、研究科の事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

学士課程では、一般選抜、全学部統一選抜（旧称：文系・理系学部統一選抜）、大学入学共通テスト利用選抜、公募制学校推薦型選抜、指定学校推薦型選抜、付属学校推薦型選抜、総合型選抜、留学生一般選抜など多様な入試制度を設けている。修士・博士課程においても、一般入学試験や推薦入学試験、社会人入学試験、国際方式入学試験を設けている。各入学者選抜では、個別学力試験や面接審査、小論文審査、調査書等を用いて、アドミッション・ポリシーに基づく基礎学力を判定し、選抜している（根拠資料 5-1【ウェブ】、2【ウェブ】、3【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、6【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】、9【ウェブ】、10【ウェブ】、11【ウェブ】、12【ウェブ】、13【ウェブ】、14【ウェブ】、15【ウェブ】、40、42）。具体例として、教養学部芸術学科では、アドミッション・ポリシーに基づく「芸術に関する基礎的な知識や実践能力」を判定するため、公募制学校推薦型選抜の面接試験では自作作品の提示を課しており、一般選抜の専門試験では演奏やデッサン等を課している（根拠資料 5-7【ウェブ】、9【ウェブ】）。国際学部国際学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「英語」の知識や「表現力」等を判定するため、総合型選抜及び推薦型選抜の

面接試験（口述試験）において、英語による自己アピールを課している。また、総合型選抜学科課題型（第二次選考）の課題発表＜プレゼンテーション＞に際しては「あなた自身の言葉で」語ることを強調して求めており、受験生自身の個性を引き出す質問を通して、自らの考えを表現できる力を確認している（根拠資料 5-1【ウェブ】、4【ウェブ】、5【ウェブ】、7【ウェブ】、8【ウェブ】）。

大学院の推薦入学試験においては、全研究科の推薦基準を本学オフィシャルホームページで公表している（根拠資料 5-45【ウェブ】）。海洋学研究科では、日本国内の大学を卒業見込みの者で、学業成績の通算G P Aが 3.0 以上であることを推薦基準のひとつとして掲げているが、G P Aが算出不可能な場合等は出身大学の学科において成績が上位 40%以内であることを示す書類の提出を求めるなど、代替基準についても詳細に規定し公表している。以上のことから、方針に沿った学生の受け入れについて、適切である。

5.3. 学生の受け入れに関する状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

【補足説明】

- ① 本学における内部質保証システムの有効性とは、自己点検・評価（P D C A サイクル）を行うことで、課題を明確にして改善に努めることを指します。これに伴い、例年自己点検・評価報告書を作成していることから、前年度の自己点検・評価報告書の課題に対する、改善への取り組みをご説明下さい。さらに改善・向上については、どのような成果をもたらしたか等、第三者が分かるように具体的にご説明下さい。
- ※ 前年度の自己点検・評価報告書において、記載できなかった課題等がある場合、新規案件に対して改善への取り組みをご記載頂いても問題ございません。
- ② 学生の受け入れに関する自己点検・評価は、どのように行われているか（基準、体制、方法、プロセス等）。
 - ③ 上記の自己点検・評価結果に基づき、学生の受け入れの改善・向上に向けた取り組みは、どのように行われているか。
 - ④ 適切性や有効性の判断は、理念・目的や各種の方針、計画、目標に照らして考えることが重要です。例えば、大学の理念において、地域に根差した大学を標ぼうしている場合、それに照らした現状を説明するためにはどのようなことを明らかにしなければいけないのか、そのためにどのような資料を収集するのかを整理することから始める必要があります。そして、収集した資料から現状を解釈する際にも、理念・目的などに照らして考えることが重要です。

＜評価の視点＞

1. 学生の受け入れに関する事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。

学生の受け入れに関する事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているかについて、これに関する方針・規程・事例等をもとに第三者者が分かるように明記されている。

各学部・研究科の評価委員会は毎年度、「学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか」、「適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか」について、自己点検・評価を実施し、その結果を自己点検・評価報告書（全学）に記載し、大学評価審議会に提出している（根拠資料 2-32）。各学部・研究科から提出された自己点検・評価報告書（根拠資料 2-33）の検証は自己点検・評価委員会が行い、その結果を大学評価審議会に報告している。また、全学的な学生の受け入れについては、学長室（入試担当）が点検・評価を行い、その結果を自己点検・評価報告書（全学）に記載し（根拠資料 2-32）、自己点検・評価委員会及びその下部組織である事務系部署評価委員会に提出している。提出された報告書は、それぞれの委員会で点検・評価し、その結果を大学評価審議会に報告している。

以上のように、各学部・研究科及び学長室（入試担当）から提出された自己点検・評価報告書（根拠資料 2-32、33）は、自己点検・評価委員会及びその下部組織で分担して点検・評価し、大学評価審議会に報告され、全学的な問題点、課題、改善事項が審議されるとともに、全学及び研究科、学部等、事務系部署の内部質保証の適切性と改善向上にかかる評価検討がなされ、その結果が学長室会議に答申される（根拠資料 2-11）。学長室会議では、改善に向けた対応の方針や具体的な改善策の立案部署を決定して学長室を通じて各部局へフィードバックしている。以上のことから、定期的な点検・評価と取り組み及び課題の把握は、適切である。

2. 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関する事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。

1. 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関する事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているかについて、これに関する方針・規程・事例等をもとに第三者者が分かるように明記されている。

学生の受け入れの適切性を担保するため、入学者選抜制度の改正等の改善を要する場合は、学生の受け入れや学生募集の方針、入学者選抜制度の立案・計画を担う入試戦略会議からの諮問も含め入試企画委員会が審議し、その上位組織である学部長会議・大学院運営委員会にて検討した上で、最終的に学長・理事長の承認を得ることになる

（根拠資料 5-24、50）。

定員充足については適切に管理できているが、志願者数は減少傾向にある（大学基礎データ表 2）。直近の志願者減少傾向については少子化による影響を否めず、問題点として挙げることはない。一方で、学士課程の質を維持・向上するためにより多くの志願者を募ることは大学における恒久的な課題であり、入試戦略会議及び入試企画委員会で審議・検討している。改善策の例として、2026 年度全学部統一選抜（前期）（旧称：文系・理系学部統一選抜（前期））では、特待生奨学金を新設し、全学部統一選抜（前期）（旧称：文系・理系学部統一選抜（前期））に合格した成績優秀者の中から入学金と 4 年間の授業料を原則全額免除とする学費免除タイプと、入学手続時の授業料から 20 万円を減免とする入学奨励タイプの 2 種類を設け志願者の増加を目指す（根拠資料 5-51【ウェブ】）。

各入学者選抜の入試判定委員会では、定員充足についてデータを示し、目標達成状況を把握しながら合否判定を行うが、併せて入試制度に課題や問題点がないか点検・評価を行っている。学士課程では、毎年 4、5 月頃に各入学者選抜の募集人員を学位プログラム（学科）レベルで設定し学部長会議で報告するが、様々な課題や定員充足状況を勘案し毎年募集人員を見直すことで、定員充足率の向上に向けて改善を重ねている（根拠資料 5-47）。定員充足率の向上に向け、2025 年度入学者選抜では上述のとおり募集人員の変更による定員充足率の改善を行った。また入試広報戦略に関しても、特に地方都市において高校との関係性が希薄となつたため、これを再構築すべく、後援会活動に出向く職員が周辺の高校を訪問する体制を整え、重点地方都市を中心とした広報活動エリアの拡張及び強化を行っている（根拠資料 5-52、53）。以上のことから、学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っており、改善・向上に向けた効果的な取り組みは、適切である。

2. 本学の入学定員に対する入学者数比率について、学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数は、入学定員に対して適正な数となっているかについて、これに関わる方針・規程・事例等をもとに第三者が分かるように明記されている。

学士課程の過去 5 年間（2021 年度から 2025 年度）の各学部の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の学科を除き 0.84 から 1.12 となっているが、学士課程全体の平均比率は 1.04 であり、適正に維持できている（大学基礎データ表 2）。以上のことから、学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数は、入学定員に対して、適切である。

修士課程・博士課程前期の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の研究科を除き 0.06 から 1.31 となっているが、修士・博士課程前期全体の平均比率は 0.73 である（根拠資料 5-46）。博士課程・博士課程後期の入学定員に対する入学者数の平均比率は、募集停止の研究科を除き 0.00 から 1.27 となっているが、博士課程・博士課程後期全体の平均比率は 0.32 である（根拠資料 5-46）。修士・博士課程では研究科によって充足状況に差異が生じているが、学士課程と異なり研究のトレンドや、社会情勢、経済状況などによって出願状況が変動するためであり、修士・博士課程の質を確保する観点から容受している（大学基礎データ表 2、表 3）。以上のことから、

学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数は、適正である。

3. 本学の編入学定員に対する編入学生数比率について、学士課程を事例に第三者が分かるように明記されている。

編入学については、各学科とも概ね0～6名程度となっている。編入学の募集定員は若干名としているため、学士課程の質を確保する観点から入学者数の多少については容受している（大学基礎データ表2、表3）。以上のことから、適正に維持できている。

4. 本学の収容定員に対する在籍学生数比率について、学士課程を事例に第三者が分かるように明記されている。

学士課程における収容定員に対する各学部の在籍学生数比率は、募集停止の学科を除き0.85から1.15となっているが、学士課程全体の平均比率は1.04である。

5. 入学定員に対する入学者数比率、収容定員に対する在籍学生比率が特に低い研究科がある場合、本学の進学ガイダンス以外の取り組みについて、事例等をもとに第三者が分かるように明記がされている。

収容定員に対する在籍学生数比率が0.00の法学研究科博士課程後期では、学内の進学対象学年に「進学のすすめ」を配布することで、大学院進学の利点を訴求し、定員充足に向けて対応している（根拠資料5-49）。また、生物学研究科は2025年度の収容定員に対する在籍学生比率が0.56であるが、大学院通信を発刊し大学院生の活動状況を伝えることで、定員充足に向けて対応している（根拠資料5-39）。

6. 本学の収容定員に対し、在籍学生数の過剰又は未充足がある場合、どのような対策が検討、実施されているかについて、事例をもとに第三者が分かるように明記されている。

学士課程における収容定員に対する在籍学生数比率は、入学手続者の歩留まり等を予測しながら緻密に合否判定を行うことで、過剰に充足することのないよう対応している。

また、収容定員超過率の基準に抵触しないことを念頭におき、各学科・専攻の在籍学生数を適時把握し合格者数を設定することで、各種入学者選抜の合否判定を適切に行うと共に、適正な定員管理を行っている。また、未充足の学科を減らすため、入学手続状況を綿密に把握しながら、計画的に繰り上げ合格を発表することで欠員数の減少を実行している（根拠資料5-9 p. A-30【ウェブ】）。

2. 分析を踏まえた長所と問題点

【長所の補足説明】

- ① 長所は、『現状説明』にも説明が含まれていることが必要です。

- ② 長所は、取り組みの目的・目標とそれに照らした成果、あるいは期待できる成果について、第三者が分かるようにご説明下さい。
- 例えば、以下の (a) (b)に沿う内容が長所・特色とされています。
- (a) 理念・目的の実現に資する事項であり、有意な成果が見られる（期待できる）もの
- (b) わが国の高等教育において先駆性又は独自性のある事項であり、有意な成果が見られる（期待できる）もの

【問題点の補足説明】

- ① 問題点は、『現状説明』にも説明が含まれている必要があります。
- ② さらに問題点については、前年度の自己点検・評価で確認された課題等があれば、必ず改善にむけた計画・進捗状況・成果について、第三者が分かるようにご説明下さい。
- ※前年度の自己点検・評価報告書において、記載していなかった等がある場合は、問題の発生時期を明記して、これまでの改善に向けた進捗状況、今後の改善計画についてもご説明下さい。

本学の長所は、入試業務運営全般の統括責任組織として学長を本部長とする入試運営本部を設置し、そのもとに入学者選抜の実施組織として、教学担当部長を本部長とする入試実施本部を置き、円滑な入学者選抜を実施できる体制を構築している。さらに、全ての入学者選抜において、学長を委員長、副学長及び学長補佐を副委員長、学部長等を委員とする入試判定委員会を開催し、公正な合否判定を行っている。入試問題の作成は、入試担当部長を本部長とする出題・採点本部が管理しており、同本部は採点業務全体についても統括している。出題・採点本部のもとには教員で構成される入試問題作成部会を置き、試験問題の作成・校正を行っている。また、入試問題作成部会とは別の教員で構成される入試問題編集部会を設置し、入試問題作成部会が作成・校正した問題の妥当性等を点検することで、出題ミスを防ぐ体制を整備している（根拠資料 5-24）。については、適切な体制の構築、情報提供、公正性・公平性の担保、収容定員管理、定期的点検・評価・改善などが整備されている点である。

また、本学は多様な教育機関を有する総合学園であり、全国に7つのキャンパスを有し、各地域の特徴や施設を最大限活用した教育活動を行っている。また、大学の他に全国に14の付属高等学校を設置するなど一貫教育を実践している。付属高等学校の生徒が、大学の教育内容の理解促進を目的とした取り組み例として、農学部では付属高等学校の生徒を対象としたアグリ・サマーキャンプを開催している。また、生物学部では東海大学臨海実験所での体験授業を実施している（根拠資料 5-54、55）。これらの取り組みにおいて、豊かな自然環境や実習施設等のリソースを存分に活用し、実験や実習活動等を通じて学部の教

育内容を伝えられていることは、本学のスケールメリットを生かした長所であり、実体験を通じて得た実感や経験は、説明会や座学では得難く、波及的な成果としてアドミッション・ポリシーの理解促進につながることが期待できる。

なお、問題点として、修士・博士課程の一部研究科において在籍学生比率の超過や未充足の状態が続いていることが課題となっている。博士課程・博士課程後期における収容定員に対する研究科ごとの在籍学生数比率は、募集停止の研究科を除き 0.00 から 1.22 となっているが、博士課程・博士課程後期全体の平均比率は 0.38 である。

3. 改善・発展方策と全体のまとめ

【補足説明】

前項「2. 分析を踏まえた長所と問題点」に記載された内容に基づき、改善・発展方策と全体のまとめを記載してください。

【改善・発展方策】

①優れた点や問題点を整理し、将来に向けた方策を見定めることを意味しています。

・改善・発展方策は、具体的に（何を、いつまで、どれくらい）記載してください。

＜参考＞

望ましくない記載例

i. 今後取り組んでいく（改善・発展方策ではなく予定の記載）

ii. 必ず達成するよう努力する（改善・発展方策ではなく意向もしくは決意表明）

iii. ○○が期待される（自力、自責ではなく、他力、他責の印象）

iv. ○○が今後の課題・問題である（前項の「2. 分析を踏まえた長所と問題点」に記載）

【全体のまとめ】

①当基準におけるとりまとめ（分析した結果）について、第三者がわかるようにご説明下さい。

※内容が重複しても問題ありません。

※1. 現状説明、2. 分析を踏まえた長所と問題点に記載した内容を必ず含めてご説明下さい。

【質保証全学目標】

・2025 年度からの質保証全学目標が、大学としての改善・発展方策のひとつとなります。

基準に該当する質保証全学目標がある場合は、取り組み状況・結果を記載してください。

1. 改善・発展方策

定員管理について、学士課程については概ね適切に管理できているが、修士・博士課程の一部研究科において在籍学生比率の超過や未充足の状態が続いている。この問題点については、在籍学生数を適切に管理するために、全学質保証目標として、修士・博士課程における入学定員に対する入学者数の全体平均比率を 1.00 (2028 年度の到達目標) に向上することを掲げており、この目標設定によって目標達成に向けた日々の進捗や結果を定量的に把握し、遅れや課題を発見することで、迅速な軌道修正やプロセス最適化を実施している。

改善に向けた具体的取り組みとして、文学研究科では「文学研究科・研究者便覧」を作成し本学オフィシャルホームページで公表することで、教育研究体制や各教員のプロフィールを発信し、研究内容等の理解度向上と入学者獲得を行っている（根拠資料 5-56）。また、前述の入試企画委員会においても、前年の入試結果を確認することで、改善策を検討している（根拠資料 5-57）。一方で、人文系の博士課程では、研究職以外に就職先が少なく、大学院への進学者が少ない傾向にあるが、これは日本の社会構造上の課題であるともいえる。このような課題や、前述の修士・博士課程の質を確保する観点を勘案し、在籍学生比率の多寡を容受している一面もあるが、より適正に管理できるよう引き続き実施する。

2. 質保証全学目標の取り組み状況・結果

質保証全学目標の取り組みとして、修士・博士課程における入学定員に対する入学者数の全体平均比率を 1.00 (2028 年度の到達目標) に向上することを掲げており、2024 年度の修士課程・博士課程全体の平均比率は 0.64 である（根拠資料 2-15）。対して、2025 年度の平均比率は 0.67 である（根拠資料 5-46）。前述の継続的な取り組みにて徐々に成果が表れ始めている。

3. 全体のまとめ

以上のことから、本学の学生の受け入れにおいては、学生の受け入れ方針を適切に定め、その方針に沿った学生募集を行っている。また、入学者選抜制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正・公平に実施している。